

ハラスメント・人間関係ホットライン

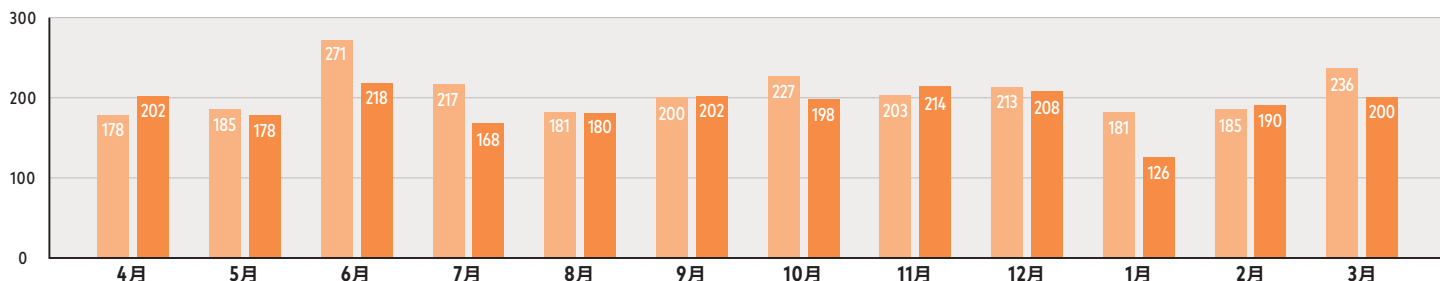
～2023年度における運営実績～

無断転載・引用を禁じます。

相談数推移

■ 2022 ■ 2023

単位／件



年間相談総数

2,284件

Tel **1,506**件 Web **778**件

利用企業数

139社

利用企業
総従業員数

54万人

平均通話時間

28分

人間関係に関する相談が増加

2023年度の「ハラスメント・人間関係ホットライン」の利用企業数は139社（前年度比＋7社）。2年前（2021年度）が90社であったことを考えると、大きく増加したと言えます。年間の相談総数は2,284件（前年度比－193件）。「ハラスメント」に関する相談比率は38%（前年度比－4%）、「人間関係」に関する相談比率は22%（前年度比＋3%）、合わせて60%となりました。「人間関係」の比率が増加した背景には、テレワークから出社に切り替わり、従業員同士が直接会う機会が多くなったことが考えられます。飲み会も日常的

に行われ、同僚が酔って暴言を吐いた、上司から飲み誘われて困るなどの相談が目立つようになりました。

放置できないハラスメント問題

実名相談の比率は43%。相談するかには実名で相談し、問題を確実に解決したい、という強い気持ちの表れと言えるでしょう。相談者は勇気を出して相談しています。適切に対応しなければ、相談者は失望し無力感に苛まれます。人間関係やハラスメントの問題が相談者の納得のいくかたちで解決するケースは多くありませんが、それでも相談にしっかり対応する姿勢を示すことが重要で

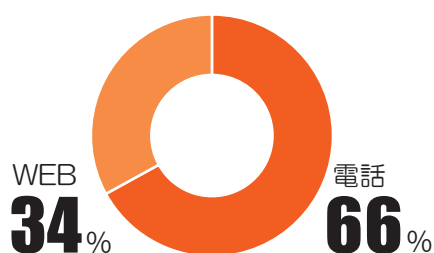
はないかと思われます。

企業は職場のハラスメントに対して防止措置をとる義務があります。ハラスメント問題を放置することは、従業員の労働意欲を減退させ、職場環境の悪化・生産性の低下を招きます。

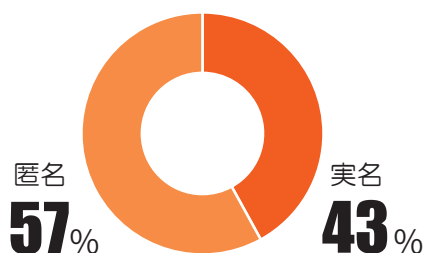
当社では通常のハラスメント防止研修だけでなく、職場内のハラスメント再発防止と行為者の教育・支援を目的とした「ハラスメント行為者研修」を実施しています。行為者の性格や行動傾向から「今後同様の行為を繰り返さないためにどうすればよいか」を考える場として年々実施件数が増えており、2023年度の実施件数は前年度の2.4倍となりました。

データで見る ハラスメント・人間関係ホットライン

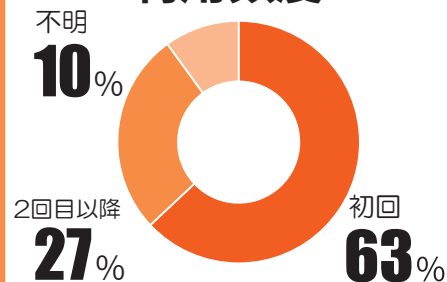
利用ツール



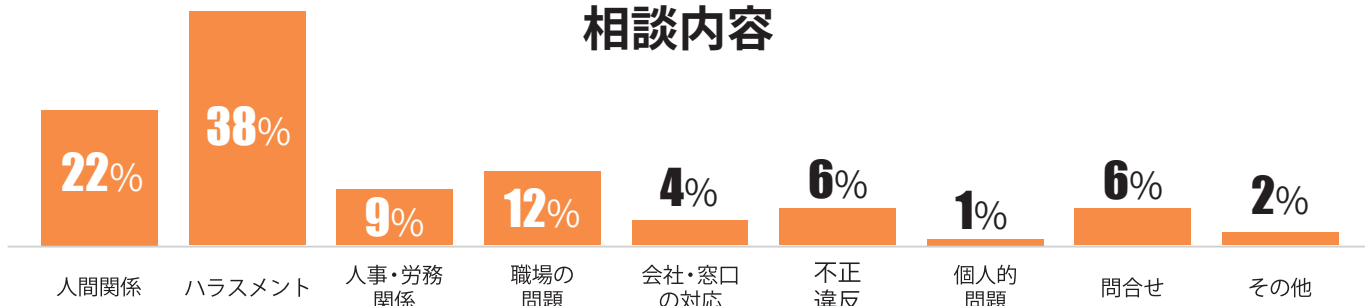
実名・匿名



利用頻度



相談内容



相談事例ピックアップ

人間関係

- 同僚が相談者や他の同僚に対し、暴言を吐いてばかりいる。よくわからないことで怒り出し、聞いていて不快に感じる言葉を使う。周囲は遠慮して何も言えなくなっているのを会社から注意してほしい。
- ある先輩が特定の後輩ばかりに仕事を教え、何かにつけ褒めて、かわいがっている。ほかの後輩が仕事に関して質問をしてもまともに答えず、褒めてもくれない。扱いに差がありすぎて気分が悪い。
- ある同僚から無視をされていることを上司に相談したところ、「あなたの話し方がきつから無視されているのではないかな。話し方に気を付けて」と逆に注意されてしまった。気持ちのやり場がない。
- 異動したばかりでまだ仕事に慣れていないのに、ベテランのパートから高圧的な言い方をされ、うんざりしている。
- 病気になり休職を希望している。休職のための面談担当者が病気の原因となった加害者なので、担当を変えてほしい。
- 上司が自分の非を認めない。間違った認識でダメ出しをしてることが多々ある。上位の上司に相談しても改善しない。

ハラスメント

- 同僚から暴力を受け、上司に相談した。上司が同僚に事情を聞いたら、同僚は「そんな事実はない」と否定したらしい。上司はそれを真に受け、相談者に異動を勧め、納得できないなら自主退職を、と促してきた。
- 出張の際、平社員は夜行バスでの行き帰りを強要されている。バスに10時間以上乗り、そのまま出勤しろと言われることも多い。一方で役員は新幹線のグリーン車を使う。社員を何だと思っているのだろうか。
- 同僚が相談者の悪口を上司に言い、上司がそれを鵜呑みにして、相談者のことを叱責した。上司は相談者の話に耳を貸さず、「そもそも悪口を言われるお前が悪い」と言わんばかりに一方向的に責めた。
- 職場の飲み会で、男性の部長が女性社員の髪の毛を触りながら「シャンプー変えた？」などと言っていた。目を疑った。
- 上司が面倒な業務を相談者に丸投げし、「残業してでも全部やって」と言い残して帰った。これはパワハラではないか。
- 喉に持病があることを伝えているのに、上司にマスクを外すよう強要され、外さないなら契約を終了すると言われた。
- 気性の荒い同僚が従業員の胸ぐらをつかんで脅すなどの暴力行為を頻繁に繰り返している。それが原因で辞めた人もいる。
- みんなの前で課長が「枕営業でもしているのか」と言ってきた。事実無根である。もう営業成績を上げる気もなくなった。
- 上司から「シングルマザーに今の役職は無理」と言われた。不当なので弁護士に相談すると伝えると、上司は態度を変えた。